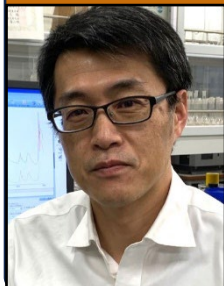


医療現場において発生する問題点に対する製剤学的研究



【中野キャンパス】薬学部 薬学科 教授

山本 佳久 Yamamoto Yoshihisa

URL : [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード : 半固形製剤・混合物安定性・酸化マグネシウム製剤・吸湿・懸濁・イメージング



研究の概要

SDGs 目標 12 : つくる責任 つかう責任

医薬品は様々な厳しい品質基準をクリアすることで、初めて医療現場で用いられる。しかしながら医療現場や患者宅における保管条件によっては、入荷後の医薬品の品質が必ずしも保たれていない可能性がある。このような状況を鑑み、近年では、医薬品の品質保証の観点の一つとして「医薬品使用時の安定性 (in-use stability)」という概念が提唱されている。本研究室では、この概念に基づき、医薬品同士の混合や高温多湿環境での保管など、医療現場における規定外の使用や保管が医薬品の品質に与える影響について、様々な剤型について理化学的手法による検証を実施している。

Levofloxacin OD Tablet

Microscopic LF Raman spectroscopy

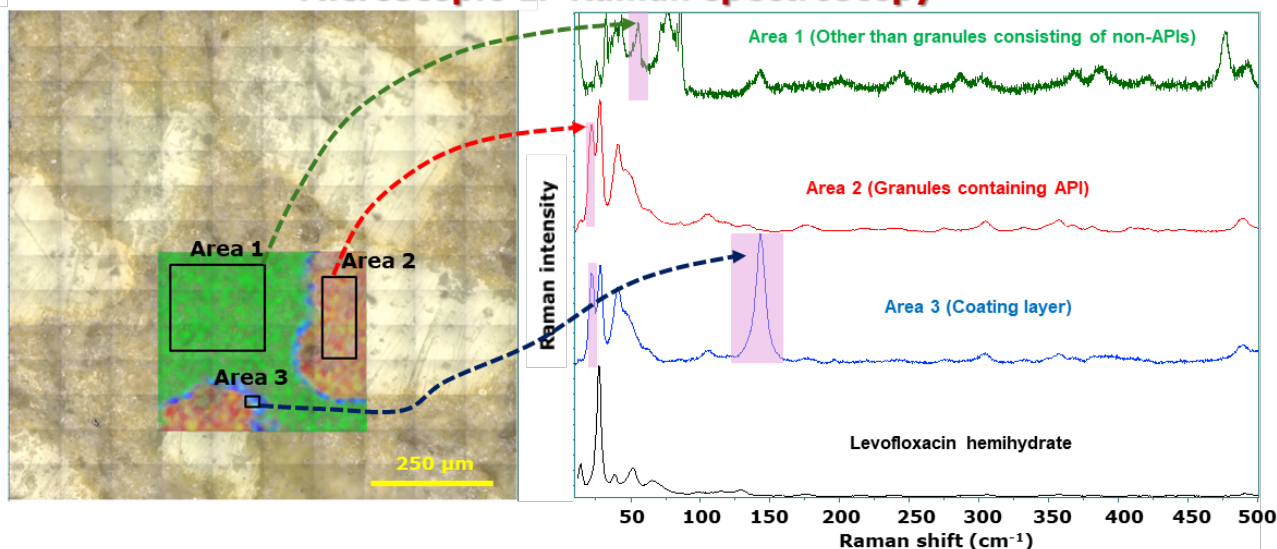


Fig. 顕微低波数ラマン分光法によるレボフロキサシンOD錠のイメージング解析

Yamamoto Y. et al., *Pharmaceutics*, 15, 2041, 2023より抜粋

実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

テーマ自体は医療現場で発生する問題を対象にしているため、本研究室で研究に携わった学生は、その検証結果自体をエビデンスとして現場で活用することができる。また、後発医薬品の新たな品質評価法の構築などに関して、分析機器メーカー等と協力することも可能である。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

【論文】

- ・「Evaluation of the Film-Forming Ability for Heparinoid Cream Formulations」
- ・「Pharmaceutical Evaluation of Magnesium Oxide Fine Granule Formulation for Conversion to Magnesium Hydroxide owing to Humidification by Near-Infrared Spectroscopy」
- ・「Pharmaceutical Evaluation of Levofloxacin Orally Disintegrating Tablet Formulation Using Low Frequency Raman Spectroscopy」